

2. 円山川の治水の流れ

P1

2.1 円山川の誕生



シジミは、海水と川の水が交じり合う汽水域を生息地とします。少なくともこのあたりまで、汽水域であったと推測されます。



ヤマトシジミが殆どだが、ハマグリ、マガキなど15種類ほどの貝類が出土。ニホンジカの角や骨、石器、土器も混じていました。

P2

2.1 円山川の誕生 (アメノヒボコ伝説)

アメノヒボコが大岩を切り開く絵



但馬地域の歴史を語るとき、とても大きな存在なのがアメノヒボコ(天日槍)です。

P3

2.1 円山川の誕生 (アメノヒボコ伝説)

治水に関する伝説

天日槍を祭った
但馬一の宮
「出石神社」に
国土開発祖神と
して崇められて
います。



P4

2.2 今までの治水対策への取り組み

江戸時代の治水事業（大保恵堤）

「大保恵堤」（おおぼえてい）
 六方平野を洪水から守ると同時に
 増水時の出石川、円山川の洪水を貯
 留させる機能を有していたと言われ
 ています。



出典）「円山川」（神戸新聞社）
 「豊岡市史(上)」



P 5

2.2 今までの治水対策への取り組み

大正時代の治水事業

大正時代の円山川改修

大正9年に国の直轄工事で行われることが決定し、
 大正11年から昭和9年にかけて改修が行われました。

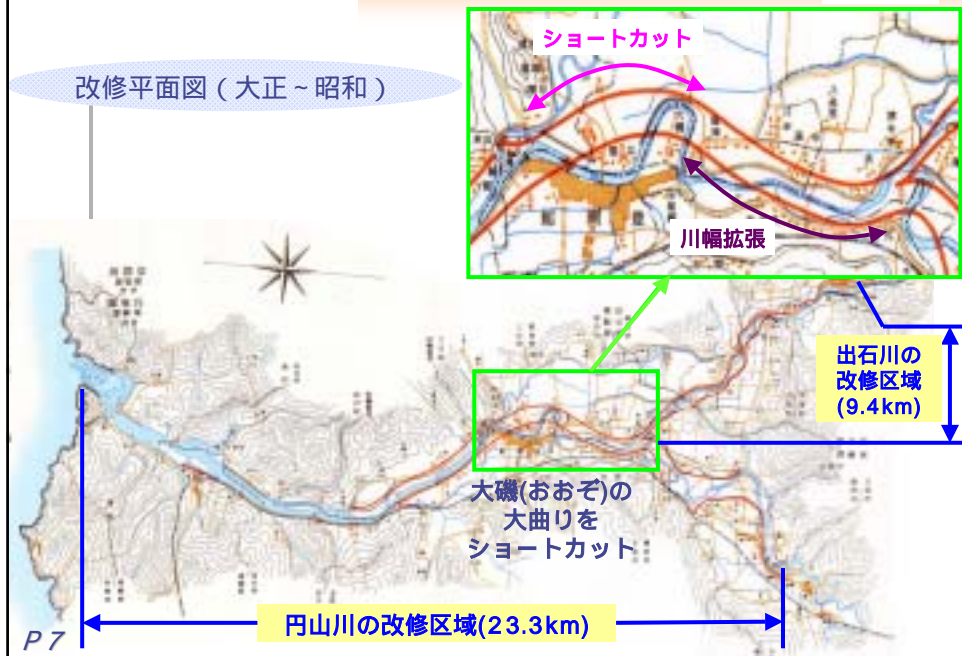
改修区間と主な改修

改修区間	円山川：河口～城崎郡国府村（左岸） 中筋村（右岸）の23.3km 出石川：円山川合流点～出石町の9.4km
主な改修	<ul style="list-style-type: none"> ・大磯の大曲部分に延長2.7kmの新川を掘る。 ・豊岡町以北4kmは川幅拡張。

P 6

2.2 今までの治水対策への取り組み

拡大図



2.2 今までの治水対策への取り組み

改修当時の写真(1)



2.2 今までの治水対策への取り組み

改修当時の写真(2)



円山川 立野橋(大正中期)